個別の指導計画（　学期）

〔様式例２〕

○通級による指導届出日：令和　年　月　日　　○個別の指導計画作成日：令和　年　月　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒名 |  | 主たる障がい |  |
| 学校名学年・組 |  | 通級の形態 | 自校通級・他校通級・巡回指導 |
| 作成者（通級担当者） |  | 学級担任 |  |
| 指導時数 | ○週又は月当たりの指導時数：　　時間　　○年間の総指導時数：　　時間 |

|  |
| --- |
| 通級終了目標　（指導期間：令和　年　月　日～令和　年　月　日予定） |
| ○ |

|  |
| --- |
| 年間の指導目標 |
| ○○ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 通級による指導① | 通級による指導② | 在籍学級における指導 |
| 学期目標 | ○ | ○ | ○ |
| 指導内容・方法 | ○・・ | ○・・ | ○・・ |
| 児童生徒の様子・評　　　価 | ○● | ○● | ○● |

※　本様式は、令和２年４月１７日文部科学省通知「平成２９年義務標準法の改正に伴い創設されたいわゆる『通級による指導』及び『日本語指導』に係る基礎定数の算定に係る留意事項について」に基づき、基礎定数の算定に際して「特別の教育課程」の届出に必要な記載事項を加えたものです。

個別の指導計画（　学期）

〔様式例２〕

○通級による指導届出日：令和　年　月　日　　○個別の指導計画作成日：令和　年　月　日

通級の設置区分に関わらず、児童生徒の主たる障がいを記入します。

年度初めの予定

時数を記入します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒名 | 「自校通級」「他校通級」「巡回指導」のいずれかに〇をつけます。 | 主たる障がい |  |
| 学校名年組 |  | 通級の形態 | 自校通級・他校通級・巡回指導 |
| 作成者（通級担当者） |  | 学級担任 |  |
| 指導時数 | ○週又は月当たりの指導時数：　　時間　　○年間の総指導時数：　　時間 |

|  |
| --- |
| 通級終了目標　（指導期間：令和　年　月　日～令和　年　月　日予定） |
| ○学習上又は生活上の困難さをもとに、通級終了を判断する規準を記入します。 |

|  |
| --- |
| 年間の指導目標 |
| ○１年間を通して取り組む目標（重点目標）を記入します。○ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 通級による指導① | 通級による指導② | 在籍学級における指導 |
| 学期目標 | ○ | ○１学期間の目標について具体的に記入します。 | ○ |
| 指導内容・方法 | ○学習上や生活上の指導内容に応じて、具体的な方法や配慮事項などについて記入します。【例】○：指導内容を記入　・：指導方法を記入・・児童生徒の障がいの状態等に応じて、必要に応じてグループ指導を組み合わせる場合は、その旨を明記してください。 | ○・・ | ○通級担当と在籍学級担任とで連携を図り、在籍学級における「学期目標」、「指導内容・方法」、「児童生徒の様子・評価」についても具体的に記入します。・・ |
| 児童生徒の様子・評　　　価 | ○・　この様式例は１学期ごとに作成・活用することを想定しています。・　作成及び活用に当たっては、本人や保護者などの参画が大切です。・　「通級終了目標」を設定し、通級終了を判断する規準を明確にします。・　「在籍学級における指導」欄の記入を通して、在籍学級担任と連携し、在籍学級での取組を明確にします。・　児童生徒の実態や学校の実情に応じて、様式を作り変えたり記入の仕方を工夫したりすることができます。・　個人情報の取扱いには十分な注意が必要です。【例】○：指導の成果や変容を記入　●：現時点での課題や今後取り組むことを記入● | ○● | ○● |

※　本様式は、令和２年４月１７日文部科学省通知「平成２９年義務標準法の改正に伴い創設されたいわゆる『通級による指導』及び『日本語指導』に係る基礎定数の算定に係る留意事項について」に基づき、基礎定数の算定に際して「特別の教育課程」の届出に必要な記載事項を加えたものです。